

全労金2024春季生活闘争ニュース・第28号

～勝ち取ろう賃金改善！進めようジェンダー平等！みんなで一歩先のステージへ！～

《合意速報No. 9》

東北労組が金庫との団体交渉で、「基本合意」を表明しました！

東北労組は、3月19日9時から、金庫と「団体交渉」を開催し、基本合意を表明しました。要求と回答は以下の通りです。

		要 求						回 答							
		正職員 (要求範囲：全職員)		契約職員		個別 契約職員	一般職員 再雇用者	嘱託等 再雇用者	正職員 (要求範囲：全職員)		契約職員		個別 契約職員	一般職員 再雇用者	嘱託等 再雇用者
		S	P C A	J			S	P C A	J						
基本賃金	改善内容	5,000円	10,000円			5,000円 時給30円	10,000円 時給60円	5,000円～14,000円 ※管理職は2,500円	10,000円			5,000円 時給30円	10,000円 時給70円		
	定算相当額 (実在者平均)	9,569円 (※昇格含む)	2,973円			-	-	9,569円 (※昇格含む)	2,973円			-	-		
	合 計	14,569円	12,973円			5,000円 時給30円	10,000円 時給60円	14,569～23,569円	12,973円			5,000円 時給30円	10,000円 時給70円		
最低賃金	時間額1,100円、日額8,070円、 月額169,400円への引き上げ						要求通り								
一時金	4.5	4.5	2.6	1.3	1.3	-	-	4.5	4.5	2.0～ 2.6	1.3	1.3	-	-	
昨年実績	4.5	4.5	1.7～2.6	1.0	1.3	-	-	4.5	4.5	1.7～2.6	1.0	1.3	-	-	
安定雇用	無期転換	-	(実現)			-	-	-	(実現)			-	-		
雇用環境	私傷病休職	-	(実現)			-	-	-	(実現)			-	-		
	育児時短	小学校卒業まで						要求通り							
単組独自要求	-	退職金の改善			-	-	-	応じられない			-	-	-		

《金庫の発言概要》

- 2023年度は、第7期中計における最終年度として各種施策の展開、また、金庫設立20周年キャンペーンの取り組み等も行ってきた。決算内容に関しても本業における事業の安定化が図られている。これはひとえに、職員のたゆみない努力と奮闘の証であると考えている。
- 日銀による金利政策の影響等もある中、可処分所得の減少による賃上げへの期待が大きく、職員のモチベーションの維持のため限りある原資の中で組合の要求に如何に答えるか検討を重ねてきた。
- 若年層を中心とする中途退職者の増加は、労使共通の課題と認識している。職員意識アンケートの結果でも、若年層の一番の要望は賃金改善であることから賃金カーブを改善し、人員確保に繋がる回答とした。契約・再雇用職員の基本賃金

に関しては要求通りの回答となっている。一時金についても、ほぼ要求通りの回答であり、現状取り得る最大限の改善を図った。

《綿闘争委員長の発言概要》

- 要求書提出から本日まで、労働組合の要求とその主旨を共有しながら、真摯に交渉対応してきたことに感謝申し上げる。
- 交渉当初から示されている物価高の金庫への影響も含め、今後の見通しについては、決して楽観できる状況ではないとする認識については、労働組合としても共有している。しかしながら、昨年に続き人員の確保に課題を抱える現状を踏まえれば、「人への投資」を実現し、将来に亘って安定的に事業を営んでいくために人財基盤を固めていくことが何よりも重要だということに拘りを持って交渉を進めてきた。
- 本日晒された回答は、現在の社会情勢を踏まえたいうえで、これから金庫が第8期中期経営計画を進めていくうえでの決意として受け止めている。労働組合として、格差是正に拘りをもって構築した基本賃金の要求に対し、要求通りの回答を示され、この間の制度的な課題認識の共有も含めて、数年にわたり交渉を重ねてきた契約職員の一時金についても、本春闘において大きな一歩を踏み出した。所定労働時間の短縮措置に対して、小学校卒業までの制度とすることを決断したことも、私たちが抱える課題を解決し、安心して働き続けられる職場の実現をめざしていくことに向けた大きなメッセージを労使から職員・組合員に発信することになると考えている。
- 春闘交渉が収束しようとしているが、私たちは直ちに定年延長に関わる高年齢者雇用制度の協議を進めなければならない。さらに、第8期中計にも盛り込まれているが、人事制度全体の見直しに向け、ろうきんらしい職員像を体現できる制度として構築をしていかなければならない。
- 勤労者奉仕が私たちの使命であり存在意義である。金庫に関わるすべての役職員が誇りを持って金庫の理念の実現に邁進し、その家族も含めて未来を守っていきける事業体として存在し続けるよう、人事制度の見直し協議だけに限らず、労働組合としての責任を果たしていきたいと考えている。

単組は、①賃金改善について、ほぼ満額に近い回答を引き出せたこと、②人への投資、人財の確保・定着という課題を解決していくための認識を共有できたこと、③解決に至らなかった項目について、継続的に協議していくことを確認できたこと、等から基本合意を表明しました。

*合意単組（6単組／3月19日17時50分現在）

沖縄、九州、九州（関連）、北海道、四国、四国（関連）、近畿、近畿（関連）
東北

以 上